

ものづくり企業展示・商談会  
**198社、製品アピール**  
 宇都宮で足銀など開催



ものづくり企業のブースがずらりと並んだ展示・商談会＝12日午前、宇都宮市

県内企業などの販路拡大を支援しようと、足利銀行(松下正直頭取)は12日、宇都宮市元今泉6丁目のマロニエプラザで、9回目となる「ものづくり企業展示・商談会2019」を開催した。製造業を中心に県内外の中小企業など198社が出展し、1200人超の

来場者に自社製品をアピールした。

足銀のほか、県内全ての信用金庫・信用組合と県などの共催。開会式で松下頭取は「活発に商談や情報交換をしていただき、地域内で新たな連携が生まれることを期待している」とあいさつした。会場には電子機器やIT関連、印刷・広告な

ど、各社のブースが並んだ。出展者は金属加工品など自慢の製品を展示し、来場者との質問に答えたりした。事前に足銀がマッチングした予約商談会では、大手の発注企業43社とのほか、出展企業同士の343組の個別商談が行われた。また

県内の工業高校の生徒約95人も参加し、ブースを見学するなどした。

樹脂製のワッシャーを製作している大豊技研(栃木市)は2回目の参加で、富田勲社長(69)は「世の中のどこでも使われているワッシャーをアピールしたい」と話した。(山崎貴徳)